

(財)女性のためのアジア平和国民基金

**第90回理事会  
第71回運営審議会**

**平成18年11月**

## 第 90 回理事会/第 71 回運営審議会議事録

### 1、開催日時

2006 年 11 月 27 日 (月) 18:00-21:00 スクワール麹町

### 2、定足数

理事現在総数は 11 名のうち、出席理事は 7 名、委任状出席理事が 3 名、欠席理事は 1 名で、定足数は満たしている旨報告があった。

#### [出席理事]

村山富市理事長、石原信雄副理事長、有馬真喜子理事、衛藤清吉理事、大沼保昭理事、宮崎勇理事、和田春樹専務理事

[委任状出席理事] 大鷹淑子副理事長、古賀伸明理事、金平輝子理事

[欠席理事] 植本真砂子理事

[運営審議会] 高崎宗司委員長、大門正彦委員

[監事] 入山健之助監事

#### [オブザーバー]

内閣官房 南慎二事務官、

外務省アジア大洋州局地域政策課 相川一俊課長  
丸尾伸一事務官

#### [事務局]

岡檀業務部長、佐藤榮子事務局員、原田信一事務局員、渡邊千尋事務局員、間仲智子事務局員、高江洲晴子事務局員

### 3、理事会

#### 議事録署名人の選出

議長に一任となり、議長より石原副理事長および宮崎理事が指名された。

#### (1) 議題審議

##### 議題 1 資料整備について

基金が所有している資料の整備（保存公開、保存非公開、廃棄など）について、意見交換を行った。

各国債い事業の基本的資料は可能な限り保存する、ということを前提に、事務局でさらに具体的に検討・整理し、次回理事会に改めて案を提出することとなった。

議題2 医療福祉支援事業の実施について

「慰安婦」被害者を対象とした医療福祉支援の最終年度事業について、事務局案が提出された。

韓国・台湾の被害者を対象とした巡回ケアの案が承認された。巡回にかかる経費の費目と金額等については、事務局が外務省と具体的に詰めた結果を、次回理事会に報告することとなった。

韓国におけるケアセンター設置の案については、引き続き検討されることとなった。

議題3 アフターケア問題について

基金解散後に、「慰安婦」被害者を対象に実質的なアフターケアを担う団体創設の可能性、日本政府の財政的支援の可能性などについて、意見交換が行われた。継続審議となった。

議題4 その他

債い事業を受け取った被害者の国別人数発表について、意見交換が行われた。継続審議となった。

(4) 事務局報告

事務局より、事業の進捗について報告が行われた。

以上

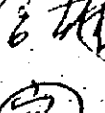
議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成 18 年 11 月 27 日

議長 (理事長)

議事録署名人 (理事)

同 (理事)

林山陽   
石原信雄   
宮崎 勇 